

●第12回神戸文学賞選考座談会

神戸文学賞／輝く言葉を持つ作品

釜谷かおる 「夢食い魚の
ブルー・グッドバイ」

本誌が創刊15周年を記念して設定しました「神戸文学賞・神戸女流文学賞」も、昨年第11回より「神戸文学賞」に一本化。応募対象地域を西日本から全国に拡大しました。

本年も、全国、北は札幌市から南は沖縄市まで、多数の応募作が寄せられ、基礎選考の結果、「朝顔」（小林英子・函館市）、「夢食い魚のブルー・グッドバイ」（釜谷かおる・高砂市）、「凌雲寺に吹く風」（中村灣子・枚方市）、「どうせ飛べないカモメだね」（仲山清・川崎市）、「靴」（西本衣江・神戸市）の5篇が受賞候補作として残っております。

●選考委員



杜山 悠 さん
＜作家＞

★水準の高い候補作が並んだ

A まず小林英子の「朝顔」ですが、この作者は、しっかりとした視点は感じるんですが、何かもの足りないですね。

B 描き方は描き方として良かったんだろうと思うけれど、もう一つ、文学の未来性とかいう話になると、ちよつとひっかかってしまいますね。

C この「朝顔」を読んで、一番驚いたのは、こういう題材がよくもまあ小説のテーマになるのかという点です。ところが、後で考えると、やはり、文学線上に乗ってるんですね。ちゃんと。こういう問題をよく、立派な作品としてひとつにまとめた、ということに敬意を表しました。

A この人は、よく書きなれてますね。全体に破綻がなくまとまっています。

B 釜谷かおるの「夢食い魚のブルー・グッドバイ」は、一番、小説としての未来性を感じましたね

小説としての省略とか、言葉の鮮烈さとか、そういう色々な点では非常に新しいものを感じました。

A これは非常に饒舌な文章だと感じましたね。しゃれたおしゃべりをする若い層があるんですが、この作品には、それと同じ感覚があるんですよ。例えば、ここに出てくるヤマトと私という関係の中で、私が私をとらえる部分のとりえ方も、非常に巧妙だし。新鮮に感じる文章が、たくさんあるような気がします。ところが、よく考えてみると、この人の持っている男と女の図式というのは、非常に古風だなと気が付きました。キラキラとした言葉に隠されていますが、中身は実に古風ですよ。

C 非常に近代的な作風で。近代的な用語で、近代的な感覚で、近代的なもののとらえ方をしている。これにはもう、おじぎするより仕方がないですね。題材としては、とてもつまらない。恋人がどういう人であったかが、この話の主題なわけです。ところが、この



鄭 承博 さん
＜作家＞

武田 芳一 さん
＜作家＞

恋人を通して、現代人がいかにあるべきかを語っている。そこに、「現代詩」を感じました。

A 次の中村澤子の「凌雲寺に吹く風」は、ちよつとまとまりが弱いですね。もうひとつ、作者の中で小説が分かっていないと感じます。自分の中で、もう少し、しっかりとしたものが見えてないと。何かまざぐりながら書いたような感じがします。もう少し本格的な勉強をされたいなと感じました。

B まだ作品としては体をなしていないように感じますね。

C この作者に小説の書き方を教えてあげたいですね。と言うのもこの作品の題材には、大変魅力を感じるんですよ。それが綴り方に

なっていました。これは惜しいですね。私には、とうてい得がたいものを、この作者は持っています。本当に驚きました。それが、説明に終わってしまったていて。惜しいです。

B 小説の主題としての問題意識は、確かに一番感じましたね。

A 「凌雲寺に吹く風」と対称的なのが、仲山清の「どうせ飛べないカモメだね」で、上手い。読み始めると、最後まで一気に読んでしまうというのは、作者の力量があるということの証明ですが、この作品がそうです。

C 確かにとほけた味があります。ただ、読みものが先か、小説が先かとなると問題がありますよ。**B** ちよつと上手すぎる感じがしますね。小説というより、映画の脚本を読んでいる気がする。下手・上手じゃなくて、手なれた文章で読ませる。手練手管でなく、文学としての価値として考えと、ちよつと困ってしまふ。

A 全体にウネリがあるんですが最後まで何回も読んでみると、腰くだけだなと感じまして、もうひとつ力が足りないと思いました。

B こう胸に飛びこんでくる言葉が欲しいですね。

A 最後の西本衣江の「靴」ですが、これは釜谷さんの「夢食い魚のブルー・グッドバイ」とは、全

く対称的でこの人は、普通の日常的などどこにでもある話。そして、どこにでもある問題―嫁と舅という。嫁と舅と姑と夫という、この人間関係の中で、本当にどこにでもある話と取組んで、そして、飾りやれん味を少しも持たず、まともにそれをジツと追い求めて行ったという作品です。いわば、まともな人生の大道と、真正面に取り組んだものですね。

B 「靴」には近親相姦的な話が出てきますが、それを現実のものとして描いているんですしたら、絶対この作品を押すんですが、疑いだけで、何もなかったというんじや、ちよつと平凡すぎますよ。それに、心理描写が説明に終わってしまっている感じがします。

C 確かに、自分が本当にお父さんの子なのか、お母さんの子なのか。そのお母さんも養子の子なのか。その養子娘が、養子をもろう前に出来た子供が、この主人公の私である。この設定としては、なるほど気の付かない設定であるというのはいただけるんですけどね。何か一つ、自分の宿命というものを、こういうふうにかやかすのはおかしいじゃないかという、最後にジレンマに陥ってしまった。近親相姦関係だとか、色々あっても、何か自分のそういった宿命を最後に、こういうふうに変化して

しまうのは、ちょっと惜しいですね。近親関係を。あの息子とお母さんが、本当に体を許し合ってしまっているのだったら、ここに問題性はあったかもしれないが、誤解ぐらいで終わっただんでは、これはちょっとダメされたような感じがしますよ。

A 5編を比べてみたわけですが、この中では、やはり「夢食いのブルー・グッドバイ」がズバ抜けていいですね。ところが、他の文学賞の候補作で、同じようなタイプの作品を何年か続けて読んだことがあるんです。それも全く別の場所で書かれているのに。ひよっとすると、同人かと思って調べてみても、全くかわりがないんです。つまり、それは、そのような文学を書く層が、年代が生まれているということなんです。

小説ではありませんが、短歌の俵万智のああい層が、若い人達に確かにあります。そういった層は、われわれの世代が文学に対するのと違うんです。キラキラとした才能でバツととらえる。カメラのフラッシュをたいて、シャッターを押すような文学。そういった一瞬の感性の中でしょうかの考えないし、成立しない。私は、この作品は素晴らしいと思うけれど、神戸文学賞を取ったことで、今後、こういう作品ばかりが受賞する。

こういった作品でなければ受賞しない。というふうになるのが恐いんです。地道に文学をやっている人に希望を与えてあげたい。

C 今回の候補作は総じてレベルが高く感じました。一つの作品としてまとまっています。それに上下をつけるのは難しいですね。

A 「夢食いの魚」のキラキラした言葉を一つ一つはいで行くと、その根底にあるものは、釈迦の時代から続く、人の感性なわけですから、つまり、新鮮だが古風なんですね。

C そうですね。新鮮なところがあって古風である。

B 非常にヒカリのある言葉だと、キラキラ光るものを感じました。ここまで書けるということ、で、作家の未来性も、文学の未来性も感じますよ。

C これからの作家を選ぶという意味でも「夢食いの魚」は、未来への可能性があると思います。

A 私も神戸文学賞として、作品としては異議はありません。ただ先ほども言ったように、傾向が、

「神戸もやっぱりそうですか」となるのが恐かった。こういう傾向でもないグループも多いですから。確かに、この作者は、このまま進めば、将来何か開拓できそうな人だと分かるし、30歳にしては力が有り過ぎるような気がする。

B 「靴」も、生の近親相姦のままで行けば良かったんですがね。

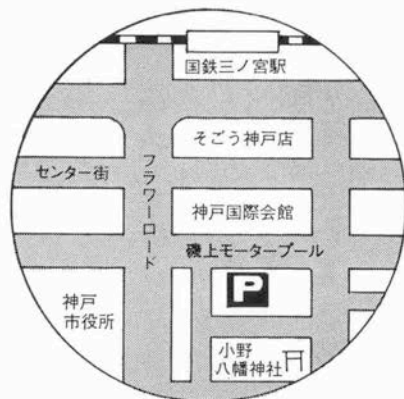
C そうですね。77歳とは思えないほど、文章は若々しいですからその点だけが惜しい。ただ「夢食いの魚のブルー・グッドバイ」の作者には、キンキラキンと地道というのが大切なことだと分かってもらいたいですね。キンキラキンだけで、これからの世の中を突っ走ることとは出来ませんから。

A それから、「夢食いの魚」が古風だといったのは、図式が古いからなんです。人間がひとつの愛情を持ってサヨナラと言う時に、全く従来からあった感情の中にしか書けていない。つまり、人間から人間に訣別する時の情感というもの、それが誰も今まで見つけなかった。それが発見されない限り新しい。そのところを言っている。だから、そういうことの中で、いくら言葉を費やしてもダメだということを言っているわけなんです。しかし、それをマイナスとしても、よく書けた作品だとも思います。

B と言うことで、今年の受賞作は満場一致で「夢食いの魚のブルー・グッドバイ」ということで。

C 「靴」も、内容的には新鮮なものを感じますから佳作ということで、次回作に期待したい。

ビジネスに!
ショッピングに!
ご利用ください



磯上モータープール

(神戸国際会館前) TEL (078) 251-2662 (8:00A.M.~11:00P.M.)

- 収容台数 350台
- 月極駐車可
- 年中無休

■第12回神戸文学賞受賞作品へ1

夢食い魚のブルグストバイ

釜谷かおる

絵／ユタカ順子



1
私の部屋には、一匹の魚が住んでいる。思い出した時
しか餌をやらないが、腐蝕した水の中で、魚は半年以上
も生き続けている。

やたら腹の大きな魚だった。その腹には何十万という
卵でも詰まっいて、夏までにも産みおとしてしまうの
かと思っていた。

だが、冬が去ろうとしている今も、魚の腹は依然とし
て大きいままだった。

ベッドに転がって耳を枕におしつけると、ドアの横に
置いた大きな水槽がちょうど私の正面にくる。緑色に曇
ったガラスに囲まれた小さな世界を、魚はもうすっかり
知りつくしていて、初めの頃のようにガラスにつきあた
ってからあわててヒレをばたかせたり、もがくように
ガラスの前を上下したりすることはなくなっていた。ゆ
う、と泳いできて、ガラスの手前でしなやかに身を返
す。瞬間、ギャングの名にふさわしく、むき出した目玉
と出張った下顎の、いかにも食欲そうな顔が大映しにな
った。

2
大物を釣ったぞ、とヤマトが電話してきたのは、ちょ
っと気の早い半袖のブラウスを着てみた五月の午後だっ
た。受話器のむこうで、走りすぎる車の音がずいぶんう
るさかった。

「え？何て言ったの？」

き・こ・え・な・い。一つずつ切った音を、私はいらだ
たしく投げつけた。

「俺、いまカモ池に来てるんやけど」

弁解するようなヤマトの声は、私を懐柔する優しさを
帯びていた。それは、つまらないことでさからいあって
ケンカ別れしてしまってから、互いを意識して過ごした
数日を埋めあわせようとする、作務的な優しさだった。

「オオモノ。わかる？——でっかい魚を釣ったわけ」

今度はしっかりと聞こえた。ちよっと興奮きみの、誇ら
しげな声。しかし私は「ふうん」としか答えない。数日
前の、ケンカのあとあじの苦さがまだ胸にあった。確か
スカイラインにディーゼル車があるかないかというよう
なことが原因だったと思う。自分の正しさを主張するは

かりで譲り方を知らないふたりは、いつも救いのない別れ方をしてしまう。

「こういう時は女の方が謝るもんや」などと時代錯誤な思い上りを押しつけられれば、徹底的にさからいたくなるのが私なのだ。

私は電話のこちら側で、まだ心をとがらせたまま黙っていた。

「お。——その声は、信じてないな」

あたり前だ。そんな子供だましのテにのって、即、機嫌のいい声が出せるほど単純にはできとらん。

「まあ見て驚くな。今から行くから、心の準備して待つとけよ」

私に気のりのしない返事しかさせないうちに、勝手に電話を切った。

何だよ、それは。急に恨みがましい気分になって、すでに切れている電話に向かってほえてみた。

悪かったと思ったなら、素直にそう言えばいいのに。

優しく出られたら、でもなく転んでしまう自分の中の女を、私はよく知っている。逆に剛で出られたら、こちらも剛で返すしかない。

私は階段を上りかけてふり返り、のび上って玄関の沓

脱ぎを見た。私のサンダルがそろえられている。母は店へ行ったらしい。私は階段の柱に取り付けられた玄関チャイムのポリウムをMAXにしてから部屋へもどった。

あんな奴をのんびり待っている暇はない。明日は卒論構想の諮問がある。卒業年次だというのにのんびり釣りにほうけているヤマトになんか、かまっていられる

余裕はないのだ。

私とヤマトが住んでる播州平野のこのまちは、一帯が古くからの水田地帯で、いたるところにため池があった。ヤマトがぶらりと車を出せば、必ずそういう池に行きつく。釣りを始めたのはただ無目的に車を乗りまわすことにあきてしまったからで、どこへ行っても釣り竿を取り出している。今まで通りすぎただけだった池でこんなに長く楽しめるなんて、と、本人はえらく凝り始めた。だが私のほうは迷惑もいいたころだった。

「天気もええぞ。むこうの山がきれいや」

呑気なヤマトの声は、母に言われていた用事や、翌日提出しなければならぬレポートも放擲させ、うきうきと差し入れのおにぎりを作らされるほどの説得力を持っていた。

だがいつでも、彼のビクは空っぽだった。

「ごっつい手応えやったぞ。八十センチはあったやろな。ちよっと引きが早かったかなあ」

ヤマトの妄想の中で拡大されたバケモノ級の魚は、その池にいったい何匹いることか。そんな大物を「もう少しのところ」で逃がしてしまった彼の残念物語を、私はうんざりするほど聞かされていた。池のそばの木の枝に

釣針をひっかけてしまい、木登りで終わった日もあった。ぽかぽか暖い午後、眠そうな顔をした亀を釣りあげたこともある。亀も驚いたのか、宙づりになりながら短い手足をジタバタさせていた。釣れないのは餌が悪いんじゃないかと言いだして、私が差し入れた自慢の卵焼きを針につけたこともある。「桜子もやってみたらええねん、おもしろいで」退屈そうにしている私に、ヤマトは媚びるように笑う。

あほらし。金魚すくいのほうが似合っでんじやないの。——さんさんに憎まれ



口をたたきながら、結局ついていってしまう私ぐらいしか、ヤマトに釣れるものがないでならないだろう。

レポート用紙の前に、一行も書けないでいるうちに、ヤマトの車が家の前に停まった。溝に敷いてある鉄板を鳴らすタイヤの音、ターボ車特有のエンジンの音、停まった後で必ず一度アクセルをふかす音。すわっていても私にはわかってしまう。きつとドアを開けたままこそこそやってるんだろう。でも私は彼がちゃんと玄関のベルを押すまで、机の前にすわってがまんしていた。

MAXにしておいたチャイムが家じゅうに響きわたるのを聞き終えると、私はわざとぐずぐず玄関に向かった。ぼそっと立つ立っている彼は、まっ黒なレンズの、へんてこなサングラスをかけている。そして口もとだけにんまり笑って、右手でVサインをしてみせた。

——その無邪気さにつられてはいけな。まったく、私は彼のその顔に、弱いのだった。

白いTシャツに、リーバイスのストレート、それにゴム草履。一見さりげないかっこうだけど、ベルトに通したウエストボーチや、ウエイアウトのプリントで、実は彼がおしゃれに苦心していることがわかってしまう。

私は何も言わないで、彼が左手に持ったポリ容器をのぞいた。それは餌に使う養殖ミミズのケースで、葡萄なら一房入りそうな大きさだった。その中に、魚はいった。無言を守っている、といった風情で、魚はじっとしている。エラブタを膨ませたり閉じたりしているのは、いかめしいぎざぎざの背びれを立てて、身を固くしている。私は思わず息をのんだ。水底から別世界へ連れられてきたその生き物のかたちが、とてつもなく精巧につくられていたからだった。

ふいに、初めて彼が魚を釣った日のことを思い出した。「落ちついて、落ちついて。桜子、さわくんじやないよ」

さわいでいるのは自分だということに気づかないほど興奮して、ヤマトはリールを巻きとっていた。糸が水を

きってびんとはねる。

「わっ！」

逃げ腰の彼が捧げ持った竿の先に、人さし指ほどの小ブナが、薄っぺらな身を裏返したりねじったりして、必死の抵抗をしていた。

だが彼は針からはずせない。「わっ、血が出た」「こいつ、目エつぶってくれへんか」さわぎながら新聞紙で魚をつかんでいたが、口に刺さった針はさんさんに魚を傷つけていた。彼は近くで釣りをしていた少年に応援をたのんだ。まだ小学生だったが、ちょっと軽蔑したような顔で、無言のうちに手際よく魚をはずした。感心して少年のビクをのぞくと、そこにはまっ黒な、武装した古代戦士のようにものものしい魚が、ぬらりとろこを光らせていた。

それが、ブラック・バスだった。

釣り具屋に貼られた魚拓で見ると、ヤマトには縁のない魚だった。くろぐろとした墨のうろこには、まだ息をしている魚の生命感がある。紙の上の魚のかたちは、ヤマトの頭の中でむっくりと立体感を帯びて泳ぎまわった。静かな池のおもてのはるか水底で、あの巨大な魚たちが呼吸している姿を想像するだけでぞくぞくするような、ロマンなのだとヤマトは夢中になって話していた。

その同じ魚が、ここにいる。私はあわててバケツを用意した。初夏の陽がまだ高く、少しも夕刻を感じさせない。バケツを囲むようにのにぞきこんでいるふたりに、いつか「ごめん」の言葉なしに、なごんだ空気があった。

その時、突然魚が全身で跳ねて、バケツからとび出した。私はきゃつ、と叫んで後ずさり、バランスをくずして尻もちをついた。

魚は、すっかり濡れた地面の上で、じっと横たわっている。

「死んだふりしとるんかな」

ヤマトはバケツからティッシュをとり出すと、もぞもぞ近づいていって、おそろおそろに魚をつかみ、

「じかにつかんだら、手が生臭くなるやろ」と弁解した。魚はもとのように狭いバケツの中に、ふてぶてしく潜んだ。

へんな、さかな。身のほども知らずバケツから脱走したりして。

「ねえ、この魚、どうすんの」

私は一生一代の笑顔を作って彼に言った。

「大事に面倒みるから——私に飼わせてよ」

アホか、と彼はつぶやいた。だから下手に下手に、くすぐるようにたのんでみる。ふだんは軽蔑している女の媚びも、今はそんなこと言ってられぬ。なにしろヤマトは、たのみごとを二つ返事でひきうける、ということがないのだから。いつも、四、五分はぐずっていて、条件つきでやっと商談成立というあんばいだ。しかもその後、恩に着せること甚だしい。ねばりつづけて、ヤマトはやっと、

「こいつを飼うなんて、難しいぞ」
鉾先をおさめてきた。

「うん、うん」

私は尻尾があつたら振り回したいような気分で答えていた。

「大きい水槽が、いるなあ」

ついに敵は陥落した。そうして魚は、私のもとに残されることになった。

バケツのそばにかがみこんだふたりの影法師が、長くのびていた。

3

ブラック・パス。

播州平野では、たいていどこの池にもいるということだったが、魚といえば、コイやフナしか知らなかった私には、こんな横文字の名前の魚が身近に、しかもあまねくすみついているということが驚きだった。



サカナへんの名でないのは、どうやら外国の魚だということらしい。海ならば話はわかるが、こんな内陸の小さな池に、魚はどうやってやってきたのだろう。

池のほとりの釣り少年は、そんなこともよく知っていた。

「昔、釣りキチのおっちゃん、アメリカから持って帰って放したんや」

輸入されたブラック・バスは、古くから日本に棲息している野鯉やフナを食い荒らし、驚くべき生命力と適応性で繁殖していったらしい。少年は擬似針を糸先につける作業をやめないで話してくれた。

それにしても、放流された池は限られていたはずなのに、魚はどうやって、他のあらゆる池に浸入していったのだろう。私には依然として謎が残された。

魚は、何くわぬ顔で水槽にいる。沈黙していく粉末のようにゆっくりと、ガラスのむこうを横切っていく。

4

私はブラック・バスになろうと思う。

まわりでは男子学生が次々と服装を改めて、社会への入り口を私たちに垣間見させる秋が来ていた。中学の次には高校、お次は大学。自分で考えるまでもなくお膳だてされたコースを歩いて、学生だけをやってきた。だがもう、この次がない。

学生たちが主体的に政治とかかわり、世の中を変えようとした時代は、とっくの昔に神話になっている。量産され大衆化した大学で、私は毎日空気みたいに、正門から吸いこまれて吐きだされてきただけだ。そしてそれもうすぐ、おしまいになる。私は家を、このまちを離れようと思っていた。

「何を馬鹿なことを。女だてらに何ができるっていうの。随ちていくのがお決まりよ」母は私の話なんか聞こうとはしない。ウィンドーに飾る恰の着物を入れ替えている呉服屋の店先には、運よく客も店員さんもないなかった。反物のまるい筒が並んだ古めかしい棚の前で、注文

の着物に八掛を合わせていた祖母も、いぶかしそうに眼鏡を上げた。

祖母も母も、女はよりよい結婚をすることで幸福になれると固く信じているのを承知のうえだ。曾祖父は女郎屋で儲けた人だが、彼の泣かせた女たちの報いで、この家の女は幸せにはなれないようだ。祖母は夫の女癖に苦勞して、幼なかつた父を連れて出もどつてきているし、母は三十代の女盛りに父と死別している。彼女らが本気で話すジंकスを、私は子供の頃からしつこいほど聞かされていた。幸福は自分で切り開くものだと思じてはいても、そういう不幸をなめてきた祖母や母を洗脳できるほどの力もない。だから、私は、せめて自分でやってみるしかないのだ。

「何も桜子にあと取ってもらお、なんて思てるわけやないけど、そんなすっぱり、捨てられるとはなあ」

今も昔もこの店の看板娘を自認する祖母は、きちんと化粧して粋な着物を着ている。

「まあこの商売、しばらくはおかあちゃんと二人でやっていけんことはないさかいに」

私のことにはいつも祖母の方が柔軟だった。

「おばあちゃん、そんな甘いこと言うてもろたら困ります」

お互いを、私からみた呼び方で言いながら、しばらく二人の手は止まった。からっぽになったショーウィンドーのガラス一枚で外界に接した店内が、やけに明るい。母の額のはえぎわに目立つ白髪のかたまりから、私は目をそらした。幼ない私を抱えて再婚もせず、呉服屋のおかみさんのくせに自分のためには一枚だって着物を作ろうとはしなかつた母の人生を考えたりすると、私は何もできなくなりそうだった。

私は電車の時間を口実に、店の扉を押して外へ出た。ふり返るとガラス越しに、とり残されたような祖母と母、二人の顔がやけに年老いて見えて、悲しかった。

(つづく)

●Kobecco club 会員情報



レオポルド
フェデリコ



菅原 洋一

●神戸文化ホールプレイガイドに限り
神戸っ子倶楽部の会員証で特別割引いたします
華麗なるアルゼンチンタンゴ
“TANGO '88”

レオポルド・フェデリコ
グラン・オルケスタカロス・ガリ (ボーカル)
菅原洋一が出演
1月27日(水)午後6:30
於/神戸文化ホール大ホール
主な演奏曲目

ラ・クンパルシタ カミニート
エル・チョクロ さらば草原よ他
■入場料/S席 5,000円 A席 4,000円
B席 3,000円
あじさいシート 1,000円

■主催/神戸市・神戸市民文化振興財団・神戸文
化ホール

■会員証をお示し下さい10%引き



'88丹波と但馬と神戸を結ぶ
文化交流サロン
「小鼓会・一泊旅行」

とき/1月24日(日)25日(月)
スケジュール 集合午前9時30分(神戸市役所前
集合)

10時出発-11時丹波立坑焼
市野弘之先生室-11時45分出発
12時20分「大和」昼食-15時50分
城崎西村屋着-一泊翌朝9時30分
城崎出発-1時神戸着

会費 小鼓会会員と神戸っ子倶楽部会員
お1人様 3万円 ビジター 3万3千円
お申込み 月刊神戸っ子・小泉美喜子宛
神戸市中央区東町113ノ1大神ビル9F
☎078(331)2246 Fax(331)2795

'88 Kobecco club news 12

愛読者のためのコミュニケーションサロン



神戸っ子倶楽部新会員
継続会員ご案内

■神戸っ子倶楽部では、ただ今会員を募集して
います。会員の方には「月刊神戸っ子」を1年
分お届けします。また、神戸っ子倶楽部の会報
として、「月刊神戸っ子」の誌面上に、「神戸っ
子倶楽部ニュース」を毎月掲載、会員の動きな
ど様々な情報を提供します。さらに年2回、文
化性の高いイベント(コンサート、美術展、演
劇など)に特別割引または無料でご招待いたし
ます。年会費(入会金を含む)は1万円です。

神戸を愛する人たちのカルチャークラブ「神
戸っ子倶楽部」。あなたもご入会になって豊か
な神戸っ子ライフをお楽しみになりませんか。

会員の方は有効期限をお確かめのうえ、継続会
員として年会費をお納めください。

■入会申込・お問合せは——

〒650 神戸市中央区東町113ノ1大神ビル9F
月刊神戸っ子内 ☎078(331)2246

★Kobecco club 会員の皆さんをご紹介します

会員 No. 氏 名

521 小林 竜雄	533 中 右 秀 子	545 谷 脇 良 雄
522 右 近 良 夫	534 寺 尾 啓 子	546 三 浦 敬 子
523 梅 田 正 己	535 小 川 益 慧	547 西 川 克 子
524 梅 原 宮 子	536 大 西 淑 淑	548 中 井 聡
525 小 林 陽 子	537 古 塩 敬之助	549 辻 義 子
526 西 口 正	538 安 中 裕 恵	550 中 村 泰 代
527 渡 辺 俊	539 長 岡 善 孝	551 平 田 有紀子
528 福 西 康 博	540 大 上 十 生	552 高 橋 赴 行
529 小林 永 雄	541 大 上 正	553 長 田 亜 司
530 中 川 遼 子	542 木 口 一 郎	554 宮 園 貴 江
531 住 本 典 子	543 三 上 卓 也	555 環 丸 修 吾
532 平 崎 清 司	544 葵 かおる	556 池 田 寿 子

Cocktail of KOBE

ROKKO HABITANT

ゆとりのひととき



ロkker・アバタン

ブランデー ½

グリンティ ¼

フレッシュクリーム ¼

シェークしてグラスへ注ぎ、抹茶をふりかける。

GUEST HOUSE

OLD
NEW

もりわき・ひろみ 土のにおいがある器を集めたお店。陶
碗人(とわに) オナー。年3回、作家展が開かれる。

森脇 ひろみ

陶器好きの母のおかげで、気がついたら器に馴れ親しむ環境にいた。若い頃、薄手の軽い、白っぽいものが好きだったのが、陶芸教室で作りはじめてみたら伝統工芸に魅かれていた。実際にお店を持つてみると、全国の釜元の中でも人柄に惹かれた暖みのある器が集っている。とりたててお酒が好きというわけでもないのに、口もおまかせのドリンク。陶器で出されたカクテルは、いっ当りがとてもまろやか。シェークしている様子は、お茶をたてているイメージにつながり、遊び心を感じる。和風の器の新鮮な使い方と、お酒を感じさせないアレ
ンジが、素敵なゆとりのひとときを作り出してくれた。

神戸市灘区六甲台町6-2
078-881-6641 17:00~24:30



神戸市灘区新在家北町2丁目
TEL (078) 841-1084



味どころ 檀瑞古

神戸市灘区新在家北町1-1-18
TEL (078) 841-9555



小泉興業株式会社代表取締役 小泉 健二



神戸市灘区友田町5-2-3
TEL (078) 841-3151(代)

A
HAPPY
NEW
YEAR

あけまして
おめでとうございます。
本年もどうぞよろしく
お願いいたします。



阪神新在家駅南
TEL (078) 851-4391



ビリヤード六甲

神戸市灘区新在家北町2-1-1
TEL (078) 841-1088



ピザ・ステーション

神戸市灘区友田町5-2-3
TEL (078) 851-1711

神戸のうまいもとドリンキング

★日本料理

讃岐名代うどん あこや亭
東引店 ☎232-2460 三宮店 ☎332-3003 住吉店 ☎453-3737
兵庫駅前店 ☎579-5306 ポーアイ店 ☎303-1188
ポーアイブザ店 ☎303-3232

北海道郷土料理 蝦夷
中央区中山手通1-4-13
東門前東門会館ビル1階 ☎331-7770

和食くれな
三宮生田新道浜側中央KCBビル2F ☎331-0494

料亭布引大しま
中央区熊内町4-6-19 ☎221-1945

民芸酒家五事
元町3丁目山側 ☎391-3156

炭焼やきとりトリドリ
中央区北長狭通2-5-1
タイシンサンセットビル2F ☎391-3028

手打うどん木曾路
フラワーロード市役所前K.EビルB.F ☎231-1295

どじょう吾作
中央区元町通2-7-20 ☎321-0539

鍋・しゃぶしゃぶ三十三間堂
神戸ワシントンホテル2F ☎331-6111

割烹銀坐
神戸ワシントンホテル2F ☎331-6111

手打そば庵
市役所花時計北・ハニービルB1 ☎331-0260

季節茶屋一輪一房
中央区三宮町1-8-1
さくらプラザB1F ☎331-2280

天ぷら天ふじ
中央区下山手通2-11-24
大金ビル1F ☎392-3630

SAKE & Kaiseki 喜兵衛
中央区山本通2-1-1
コーナークラス2階 ☎242-5411

懐石料理馳走
中央区山本通4-26 ☎222-6022

蟹土料理千石船
さんちか店 ☎391-4875 山手店 ☎391-9314

活勢庵老料理中納言
神戸プラザホテル ☎331-7918 元町東店 ☎392-1685

懐石料理楽珍
阪急西口店/阪急三宮西口北長狭ビル3-4F ☎321-5200
東口店/三宮三宮西口北長狭ビル3-4F ☎332-1717

焼料理青柳
中央区元町通3-63 ☎331-2292

日本料理しげ松
中央区加納町4-9-11 ☎332-2285

生そば・寿し丸万
中央区中山手通1-27-11 ☎231-7291
☎221-8379

料亭・ラウンジ北野異人坂
中央区北野町2-9-22(三本松不動北) ☎222-2001

磯料理・寿し花群(はなむら)
中央区中山手通1-7-6 リッチライトビル1F ☎391-7881

ステーキハウス グリル青山
中央区下山手通2-14-5(トアロード) ☎391-4858

スキャンディヤ料理 ゴックスタッド
と世界の民族音楽の店
中央区山本通3-1-2 回教寺院前 ☎242-0131

ステーキラウンジ 果林
神戸ブザビル2F(元町駅南) ☎331-4558

すていきハウス 長崎
神戸市中央区布引町2-3-16 ☎221-1086

ステーキ 花崎
中央区布引町4-2-7 神戸花ホテルB1 ☎221-1087

メキシコ料理 ティファアーナ
中央区中山手通1-21-13
パールコーポラスビル1F ☎242-0043

フランス料理 ビストロドゥリオン
中央区山本通2-13-6 ☎221-2727

イタリアン パデリーナ
中央区北野町4-1-12 異人館倶楽部 ☎222-5380

ポルトガル料理 フィッシャーメンズポート
港 焼 神戸港第4突堤ポートターミナル ☎331-0301

レストラン 三光
中央区北長狭通2丁目8の6 ☎331-0226
☎321-5861

ステーキハウス れんが亭
中央区下山手通2-5-5 ☎331-7168

BARBECUE & STEAK 六段
中央区元町通3-8-4 ☎331-2108

フランス料理と神戸ビーフ レストランフック
中央区栄町通2-9-11 ☎321-3453
☎321-3207, 332-4129

ドイツレストラン ハイデルベルグ
中央区山本通2-8-15 ☎222-1424
ローズガーデン2F

ドイツワイン・コーヒー ロータ・ローゼ
中央区北野町4-9-14 ☎222-3200

韓国宮中料理 仙鳳
中央区北長狭通1-6-10 ニューキャスビル6F ☎391-2147

レストラン やまと
中央区生田町1-4-20 ☎242-2020

シルクロード料理 ぶはら
スバイスレストラン
三宮町2-3-9 ダキビル2F ☎331-1734

神戸ビーフ焼肉店 和黒(わっくく)
三田西通東橋西橋通 中央区中山手通1-24-1
指定店 ☎222-0678
ビルサイドテラス1F

スコーッチ & ローストビーフ ガスライト
神戸ワシントンホテル9F ☎331-6111

フラメンコ & スペイン料理 エル・パンチョキタノ
中央区北野町3-2-4
アニエル・マンション1F ☎241-1344

中国料理 萬壽殿
中央区中山手2-20-4 ☎231-4531

北イタリア料理 ベルゲン
中央区山本通3-3-2 ☎241-6952

SAPPORO BEER RESTAURANT ニュームンベン神戸大使館
三宮生田ロード ☎391-3656

ステーキハウス 伊藤
中央区御幸通7-1-20 大信ビル8F ☎232-3031

炭焼ステーキ フランス料理 GOONY KITANO(グーニ)
中央区北野町4丁目 ☎242-2562

神戸風レストラン 能芭亭
中央区北野町2丁目1-10 ☎291-0661

フランス料理 シャンテクレール
三宮ターミナルホテル4F ☎232-1682

フランス特産料理 トウールドール
中央区諏訪山公園展望台 ☎241-0168

ステーキ & ドリンクス 神戸館
中央区下山手通2-2-9
アマツビル1F ☎321-2955

広東料理 神戸元町別館牡丹園
元町通1丁目協和銀行北側小路西入る
☎331-5790・6611

レストラン ラ・タブル
中央区山本通3丁目3番8号(パールビルB1)
☎241-3170

オリ料理 グラン・ミカエラ・イ・ダゴ
中央区中山手通2-17-12 ☎241-0367

サン・パミ プラジール料理 コパカバーナ
中央区中山手通2-1-13
☎391-0888・☎332-6694

ステーキ スターキハウス・コウベ
中央区北長狭通1-2-3 二輪野司ビル3F ☎332-6685

神戸すてき桜井
中央区港島中町6-14 ポートピアプラザ1F ☎303-3901

メキシコ料理 チコアンドチャーリー
中央区山本通1-7-11 コーナークラスDo4F ☎221-8041

★喫茶 珈琲館たちばな
中央区元町通3-9-2 ☎391-1051

サロンドティ カレツト
元町一番街 ☎321-1739

カフェ ドラセール
新聞会館1F ☎221-8155

ケーキ & 喫茶 アンテノール
北野本店/中央区中山手通1-22-13 ☎242-3797

喫茶 ガーデニア
中央区三宮町3-8 大和ビル ☎392-4004

LE CAFE ガレ
中央区山本通2-3-14 ☎242-7144

宮水のコーヒー にしむら珈琲店
中山手店・中央区中山手通1-26-3
☎221-1872・☎231-9524

三宮店・国鉄三宮駅山側 センター街店・中央区三宮町10-27
☎391-0669

北野店・山本通2-1-20 ☎242-2467
(会 員 制) 3F事務所
阪急・三宮東口山側 ☎332-5727

珈琲 モーツアルト
中央区山本通2-6-11
グランドマンション1F ☎241-3961

珈琲 ん
中央区三宮町2-9-6(トアロード) ☎391-1589

喫茶 館英園屋
神戸国際会館側 ☎251-4562

喫茶 館葡萄屋
三宮センター街3丁目 ☎391-9006

喫茶 館仏蘭西屋
三宮・フラワーロード(神戸市役所前) ☎232-4643

デザート喫茶 ぶどうの木
三宮・フラワーロード(神戸市役所前) ☎251-3231

ウイーン菓子 モーツアルト三宮
中央区磯上通8-1-29
カサバビル1F ☎251-3616

ウイーン菓子 モーツアルト元町
中央区三宮町3-1-3
神戸大丸山向い ☎332-0886

茶 房ナイル
中央区下山手通6丁目2-7 ☎341-7376

喫茶 モンブラン
フラワーロード市役所前K.Eビル1F ☎231-3605

コーヒーラウンジ カフェ・ド・パリ
神戸ワシントンホテル2F ☎331-6111

TEA ROOM & LITTLE SHOP ファミリア北野坂ハウス
中央区北野町2-8 ☎222-3535

純喫茶元町サントス
中央区元町通2-3-12(元町通1番街浜側) ☎331-1079

コーヒーラウンジ City of City
中央区三宮町3-9-1 ☎331-1117

ティー&スナック エポック
中央区元町通3-8-8(浜側) ☎331-3694

喫茶 テルミーニ
中央区国鉄元町駅横内 ☎332-1682

炭火焙煎珈琲 珈琲倶楽部
神戸市中央区北長狭通1-10-6(生田筋)
ムーンライトビル1F ☎332-2016

炭火焙煎珈琲 萩原珈琲店
神戸市中央区中山手通2-21-3
☎222-1457

Salon & Cafe BLUE MOUNTAIN
神戸市港区八幡町4-6-16
(阪急六甲駅下車南口西南約3分)

フルーフショップ ベニマン
フルーフバーガー
神戸市中央区北長狭通4丁目3番24号 ☎331-8584

コーヒー C A R A T
ラウンジ キャラット
阪急三宮駅東口山側 白鷺ビル3F ☎331-5141

アイスクリーム Tatoufo(タトウフォ)
中央区加納町4-7-7 ☎392-7425

★CLUB 飛鳥
中央区中山手通1-2-6 ☎331-7627

c l u b 小万
中央区東門前中島ビル3F ☎391-0638・4386

c l u b なぎさ
中央区北長狭通2-11-2 ☎331-8626

クラブ るらん
中央区中山手通1-3-1 ☎331-2854

c l u b Moon Light
三宮・生田筋Club ☎331-0157/Bar ☎331-9554

c l u b コトブキ
中央区三宮本通り ☎331-1875

C L U B N E N E
中央区北長狭通1-5-9 ☎331-4143・5625

★STAND & SNACK スナック CÉLINE
中央区北長狭通2-5-1 タイシンサンセットビル5F
☎332-6020

レストランBAR 薔薇屋
中央区北長狭通5-5-22 ☎351-4311

ジャズライブ アルバトロス
中央区中山手通1-22-10
大和ナイツプラザ2F ☎231-3300

ブナシヤンソン "音楽の家" エトワ
中央区三宮町3-8-12 ☎332-1755

神戸アロード三宮センター街西口 スカイトーアビル3F

スナック 雅子
神戸市中央区北長狭通1-5-9 KCBビル3F ☎332-0051

レストラン・バー トム・キャンティ
中央区下山手通2-8-2 ☎331-2122

サロシ 神戸時代
中央区中山手通1-23-10
セントラルウツコビル ☎242-3567

カクテルラウンジ サヴオイ
高梁山側 千木の店北 ☎331-2615

ミュージック ラウンジ サントノール
トアロード店 中央区下山手通2-5-6
北野店 中央区中山手通1-22-10 大和ナイツプラザ5F ☎291-3822
☎221-3886

スタグ 千里
中央区下山手通2-11-1 ☎331-4730

素舌 洞でっさん
中央区北長狭通1-5-12 ☎331-6778

S T A N D マッシュケナダ
ユーベルビル4F ☎331-5587

Adult Disco セキーナ
中央区加納町4丁目7-11 千野ビル8F ☎332-0666

東広光夫の ティファニー
ミュージックサロン
中央区中山手通1-21-13 ☎241-1771

Wine and Something 珍地理屋
中央区中山手通1-22-10
大和ナイツプラザ1F ☎242-0288

レジャービル 西村ビル
中央区北長狭通2-12-10(生田筋) スーパー・スチーシ
ランダムハウス45rpm 虎造 楽 珍 エスカイクラブ

スタンド かな
中央区中山手通1-7-10 英健ビル1F ☎331-1316

スナック アダルト
中央区北長狭通1-20-2 笹原ビル5F ☎321-5885

PRIVATE SALOON コートダジュール
中央区中山手通1-22-113 ビルサイドテラス4F
☎222-7222

ジャズハウス 木馬
中央区三宮町1-4 横間ビルB1 ☎391-2505

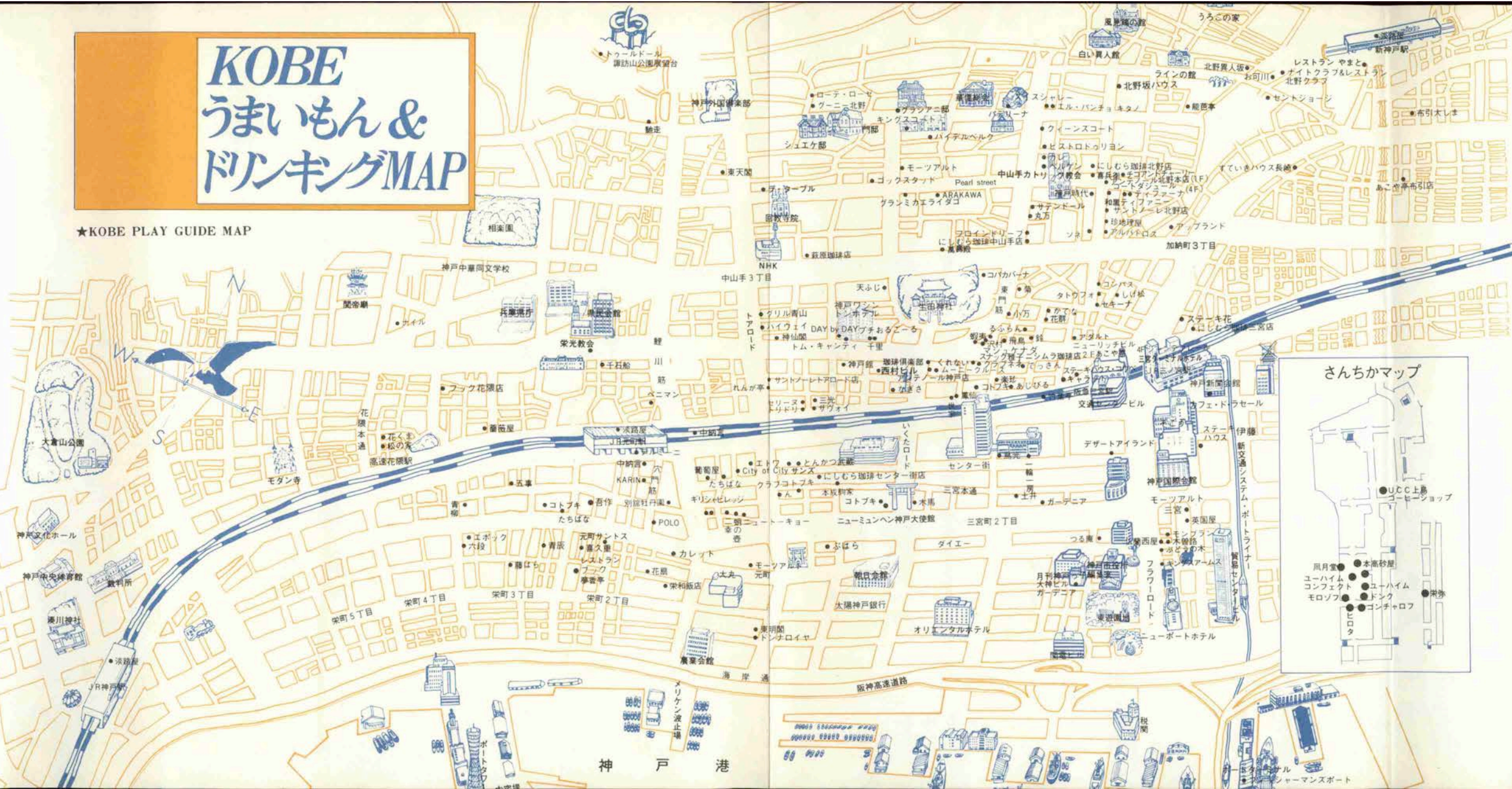
韓国スナック 世宗
中央区北長狭通1-6-10 ニューキャスビル3F
☎392-1727

ミュージック ラウンジ DAY by DAY
中央区下山手通2丁目11-5 ワシントンホテルB1F
☎392-4173

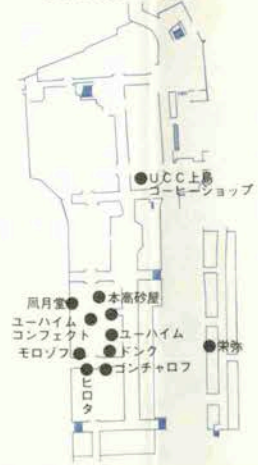
KOBE

うまいもん & ドリンク MAP

★KOBE PLAY GUIDE MAP



さんちかマップ



*Fashion Message
from Fashion Town*

今、新しい風
ファッションタウンから送ります。



MODE ORION CO., LTD.

Kobe Office: 6-4-2, Minatojima, Nakamachi, Chuo-ku, Kobe, Japan Zip 650, Phone: 078-303-2890
Tokyo Office: 2-1-13, Shinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo, Japan Zip 160, Phone: 03-356-5281

SHOPPING

あけまして
おめでとうございます

今年も心はずむKOBESHOPPINGを…



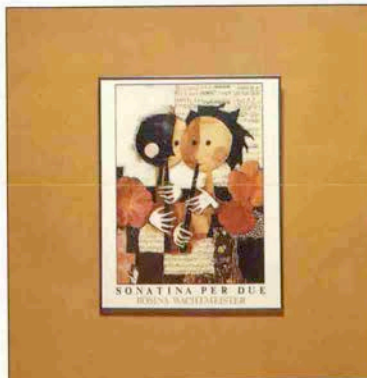
・ゴルフ&サンドリースハウス
K&T
中央区北野町4-8-3 ☎242-5382
ゴルフグッズと街のおしゃれ。数
々のアクセサリ……夢いっぱいの楽
しいものばかり！



・べっ甲
太田べっ甲店
元町一番街山側 ☎331-6195
新春の装いに、べっ甲のアクセサリ
をプラス！今年もお引き立ての程よ
ろしくお願い致します。



・きもの
みよしや
神戸大丸前 ☎321-3448
きものなら
みよしやへ！



・画材・額縁
末積製額
トアロード大丸前 ☎331-1309
アートを変えて、88をフレッシュに
スタートしましょう。日本画も多く取
り揃えております。

謹賀新年1988

暮らしをひろげる足の良さ
円熟の邸宅街



誕生して12年。あふれる自然と堂々たる街並みが見事に調和して風格の景観が。1680世帯の爽やかな人々が築きあげた真の邸宅地です。

● 21世紀を展望する北神戸に

六甲北ニュータウン

「北神星和台」



人と人、人と自然の豊かなふれあいをテーマに、明るく、健康的に暮らせるヒューマニティあふれる街を目指して、お祭り広場やジョギングロード、ふるさとの森、テニスコート、日時計のモニュメントなど、楽しさあふれる約85.9万㎡・約2,100区画の街。

夢にカタチ 空間にいのち

SINSEIWA
新星和不動産

(旧社名) 星和住宅、星和地所、新星開発

大阪市北区西天満5丁目14-10 梅田UNビル4F ☎06-311-6635(代)

初春

分大

創業・文政元年、老舗の分大が初春にかけて心をこめて新たに創りあげた練羊羹「初こぼれ」。お正月にふさわしい慶びの薄紅色とまろやかな風味を是非お楽しみ下さい。

明石市本町一丁目12-17
078-911-3635



するが屋



六甲山と神戸港をモチーフにした、「六甲峰」はこしあんに栗を刻み込み、生姜をきかせた衣で包み焼あげた深い味わいの銘菓。大楠公に因んだ「千早」慶び事に最適な「慶長」と共に神戸の風情あふれるぜいたくな味をどうぞ。

神戸市兵庫区羽坂道1丁目1-7
078-576-0790



ちから餅

暮らしの中で育まれてきた伝統の和菓子。四季の姿を写し込んだ「小倉」栗きんとん「牡丹」。寛ぎのひとつきに彩りを添える優しい味わいをお楽しみ下さい。

神戸市中央区三宮町3-2-1
078-331-3250



創業明治元年

菊水總本店

創業明治元年。手づくりの心を今に伝えて百二十年。伝統の神戸名物はやっぱり菊水の瓦せんべい。そして移りゆく季節の中で一年十二ヶ月、三十六旬それぞれの旬の味を楽しむ季節のお菓子。その技術と心を私達は守り続けていきたいと思っています。

神戸市中央区多聞通3-3-15
078・382・0080代



十勝おはぎ
サザエ



厳選した十勝あずきの粒あんで、優しく包んだ「十勝おはぎ」は日本人の心をとらえ続ける素朴で懐かしい味わい。新発売の「やわら菓詩」(レモン、木の芽、大納言、ミックス)は、和風感覚のソフトクッキーです。

西宮市上田市4丁目17-18
0798-52-6323



二つ茶屋

和風マロングラッセの「栗の宴」。渋皮つきで、本来の栗の持ち味が生かされたまろやかでスイートな名菓です。贈りものにもぜひどうぞ。6個入 ¥1,200
9個入 ¥1,800

神戸市中央区元町通3-7-9
078-331-0755



新春を寿ぼぐ

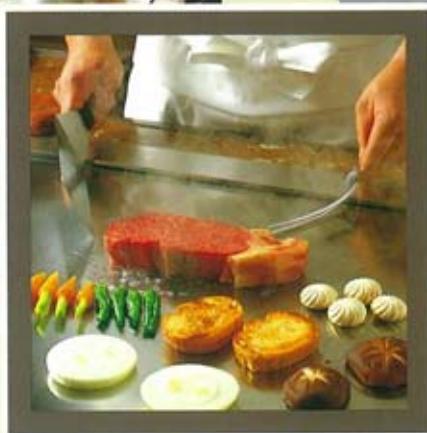
和菓子ならではの味わい
くつろぎのひとつときに

ANNIVERSARY

1988年1月5日

おかげさまで

満1歳!



昨年1月5日のオープン以来、“神戸らしさ”をモットーに、本格的なメニューとゴージャスなムード、そしてゆき届いたサービスで、常に本物を味わっていただけるよう努めてまいりました。そして一周年、ようやく皆様に満足していただけるステーキハウスに成長したと、スタッフ一同確信いたしております。今後も、お客様と共に歩んでまいりたいと思いますので、ぜひ一度ご来店くださいませ。

ステーキハウス・コウベ

Steak House KOBÉ

■営業時間 AM11:00～PM2:00・PM5:00～PM10:00
(営業はPM10:00までですが、PM9:00までにお越し下さい。)

■定休日 毎週火曜日

神戸市中央区北長狭通1丁目2-3 三鶴寿司ビル3F

TEL 078-332-6685



謹賀新年

昭和63年 元旦



おかげさまで10周年を迎えさせていただきました。本年もよろしくお願い申し上げます。

- トリドリのオリジナルメニューは30種類です。“通”の方にも、焼鳥はもうひとつ、とおっしゃる方にも、ご満足いただいております。
- 〈コースメニュー〉 A・12品・B・11品 各2,300円 他にも単品各種、ワイン、日本酒などを豊富に取り揃えています。
- 10名様ほどの小パーティーには奥の小部屋が便利です。小人数でのパーティにご利用ください。



YAKITORI
やき鳥 炭焼
TORIDORO



神戸市中央区北長狭通 2丁目5-1
タイシンサンセットビル 2F

☎ (078) 391-3028

5:00PM ~ 10:00PM (オーダーストップ)

月曜日定休



シックなムードのラセールが、大丸カーポートにオープン。ショッピングや仕事の合間にくつろぎの時間を。



神戸市中央区明石町40(大丸カーポート店)
☎ (078) 332-6498



"it's a heat wave!" ホットな気分で飲みたいね。

PUBLIC SNACK
STUDIO

神戸市中央区北長狭通2-1-11 玉広ビル5F
☎078-391-3550



メニューは、とんかつとえびかつだけ。吟味された素材と揚げ加減が老舗の味の秘訣です。ぜひご賞味下さい。

花 玉 かんたん

本店/三宮・センター街 ☎321-0634 11:00AM~7:30PM水曜休
さんプラザ店/三宮・さんプラザB1 ☎391-2427 11:30AM~8:00PM 月曜休



お昼のランチから贅を凝らした本場の中国料理まで、お手頃なお値段で味わえます。各種宴会にも御利用下さい。

中国料理
榮和飯店

神戸・元町南京街 TEL (078) 392-1982
11:00AM~8:30PM 火曜定休

新しい関西を創造する総合雑誌

オール関西

好評発売中 ¥580 (年間購読 ¥8,000)

2月号

特集

1. 瀬戸大橋博'88岡山

世界一の道路・鉄道併用橋、瀬戸大橋の完成を祝して開催される「陸と海、2倍楽しめるジャンボな博覧会」の全貌を紹介

2. なら・シルクロード博

民族の英知とロマンを今に伝える文化博—奈良の町並みや自然までが壮大な歴史ドラマの舞台

好評連載企画／創造の世界・名医に聞く・孟さんの新風俗記・大阪の曲がり角・玄妙禅談・男の後ろ姿・わが親父論
カルチャーカレンダー・住宅情報・程さんのうんちく料理塾・関西百撰会ギャラリー・上方味覚紀行・スターハイライト・日本の宝との出会い・当世川柳ばなし・BOOK REVIEW・タウンジャーナル・らいぶサロン……



内容充実 2月号どうぞよろしく！

深夜1時まで営業しているレストラン

“少しおそめのデートと
なると、きちんとした食
事は無理”とあきらめて
た人へ朗報！11月22日、
ヒルサイドテラスにちょ
っと色っぽいレストラ
ンがオープンした。大人
のための社交場“La Mo
de de Paris”はバリのエ
スプリそのままに居心地
のよさとおしさを追求
したお洒落な空間。いわ
ゆる“コース料理”とい



のはなく、オードブル（
1800円〜）魚料理（3500円
〜）肉料理（4000円〜）など
のアルカルトとおいしいお
酒が堪能できる。●火〜金
17時〜1時 土日祝12時〜15時
17〜1時 月曜日定休
☎（078）222-3599

“セレジエ”でお洒落なジュエリーを



みやげとして買っていく
人気商品は、パールのか
んずめ（700円）。かんの
中の、あこや貝の中には
1つぶのパールが入って
いる。

●10時〜18時 年中無休
☎（078）222-0808

フランス料理
北野クラブ

中央区北野町1丁目5-7
☎222-5123
11AM〜2:30PM
(ランチ/ウィンスランチは2:30PMまで)
5PM〜10:30PM (ディナー)



中央区北野町4丁目8-3
ジャスナムアベニュー2F ☎242-5382

COFFEE & SOUVENIR

うろこの家

中央区北野町2丁目
☎242-6530

異人館のユーハイム

ラインの館

中央区北野町2丁目10-24
☎222-6266
10AM〜6PM 第3木曜定休

神戸割烹

お可川

中央区北野町1丁目5-10
☎222-3511
11AM〜9PM

スキャンディナヴィア料理と
世界の民族音楽の店

ゴックスタッド

中央区山本通 回教寺院前
☎242-0131
5PM〜0:00AM 水曜定休

フランス料理

グラシアニ

中央区北野町4-8-1
☎242-0597 火曜休 予約制

フランス料理

ゲーニー北野

中央区北野町4丁目
北野林マンションB1F
☎242-2562

手づくりのシフォンケーキと
サンドイッチ
ファミリア

北野坂ハウス

中央区北野町2 (北野坂)
☎222-3535
11AM〜6PM 月曜休

ワインレストラン・ワインハウス

ロテロゼ

中央区北野町4丁目9-14
☎222-3200

フランス料理

ビストロドゥリオン

中央区山本通2丁目13-6
☎221-2727
正午〜10PM 月曜休

英国風レストラン

St. George Japan

中央区北野町1丁目2-17
☎242-1234
11AM〜4PM (ランチタイム)
5PM〜11PM (会員制)

会員制レストラン
インターナショナルゾーン
CASABLANCA CLUB
カサブランカクラブ
中央区北野町3-1-6
☎241-0200・222-0182 (パビリオン)
入会金10,000円 お食事2,000円〜
17:00〜24:00 (フルコース)

料亭・ラウンジ
北野異人坂
中央区北野町2丁目9-22
☎222-2001
11AM〜6PM (ティー&ランチタイム)
6PM〜11PM (料亭&ラウンジタイム)

ギャラリー・ティールーム
神戸時代

中央区中山手通1丁目23-10
モンシャウトコトキビル
☎242-3567
11AM〜5PM (ティータイム) 土曜休
6PM〜12PM (ドリンクタイム) 日祝休

フランス料理
ジャン・ムーラン

中央区北野町3丁目1-1
☎242-4188
11:30AM〜2PM
5PM〜10PM 水曜休

★北野クラブ

★お可川

★セントジョージ

N

KITANO

